平成２２年１０月２９日

委　員　各位

（独）日本学術振興会
情報科学用有機材料 142 委員会
委員長　小出　直之
Ｃ部会主査　安達　千波矢

情報科学用有機材料第 142 委員会
「有機光エレクトロニクス部会　第 43 回研究会」開催通知

－　高機能性有機フィルムの研究開発動向　－

有機 EL ディスプレイ（OLED）や有機薄膜トランジスター（OTFT）などに代表される次世代有機光エレクトロニクスデバイスの発展のためには､｢軽量､フレキシブル化｣が極めて重要な開発ポイントであり、そのためには「ガラス基板からの脱却」が不可欠であるといわれています。しかし、従来の有機高分子材料フィルムでは、ガスバリア性などが不十分であり、このような欠点を補った高機能性有機フィルムの出現は、次世代有機光エレクトロニクスデバイスの応用範囲を飛躍的に広げるものと期待されています。今回の研究会では、このような「高機能性フィルム」の開発分野で活躍しておられる第一線の先生方をお招きして最先端のトピックスを紹介していただきます。皆様ふるってご参加くださいますよう、御案内申し上げます。

１．日　時：　平成 22 年 12 月 9 日（木）　13:00 – 17:00
２．場　所：　東京理科大学　森戸記念館
　　東京都新宿区神楽坂 4-2-2
　　（ＪＲ・地下鉄「飯田橋」下車、徒歩約 ５分）
　　http://www.tus.ac.jp/info/setubi/morito.html
３．研究会プログラム：(敬称略)

1)「フレキシブルデバイス用ガスバリア部材の開発」　(13:00 - 13:45)
　三菱樹脂㈱　バリアフィルム開発センター　吉田　重信

2)「粘土を主成分とするガスバリア材料の開発」　(13:45 - 14:30)
　（独）産業技術総合研究所　コンパクト化学システム研究センター　蛯名　武雄

3)「シルセスキオキサンを用いた無機－有機ハイブリッド材料−その構造と物性−」　(14:30 - 15:15)
　新日鐵化学㈱　機能材料研究所　光学・ディスプレイ材料センター　湯浅　正敏

（ 休　　憩 ）

4)「セルロースナノファイバー補強透明フィルムの製造と特性」　(15:30 - 16:15)
　京都大学　生存圏研究所　矢野　浩之

5)「クレージングを利用したナノ多孔高分子フィルム」　(16:15 - 17:00)
　岐阜大学　工学部　機能材料工学科　武野　明義

（追記）：　準備の都合がありますので、出席のご都合を同封の回答用紙で１１月２５日（木）までにお知らせください。